

2014年9月5日

「星空を観て、木を増やそう！」大東建託グループ、ライトダウン運動の結果報告
節電相当分のCO₂を吸収する『気仙スギ』
341本分の植林費用を岩手県・住田町に寄付

大東建託グループでは、「星を観て、木を増やそう」と題したライトダウン運動を6月21日夏至の日と7月7日七夕の20時から22時の2時間実施し、広く消灯を呼びかけました。

このたび、この運動により削減された電気量をスギのCO₂吸収量に換算し、岩手県住田町に植林費用として寄付をいたしましたのでご報告します。

ご参加いただいた全国8,181名のみなさまのご協力に御礼申し上げます。

- 1) ライトダウン運動 2014 の結果
- 2) 森林・材木で日本一の町づくりを目指す「住田町」へ気仙スギの植林支援
- 3) 大東建託の国産材活用への取り組み



■ライトダウン運動 2014 の結果



当社にとって、初めてのライトダウン運動。グループ会社の施設だけではなく、賃貸住宅のオーナー様や入居者様、お取引先など、多くの皆さまにご協力いただきました。

この取り組みにより、グループ社員だけではなく、多くの皆さまと環境配慮についての意識を共有できたと思います。今回のライトダウン運動による節電で、植林支援本数は341本となりました。

これからも継続してこの運動を実施し、さらに大きな活動にしていきたいと思います。

■ 「住田町 大東建託 協働の森」 気仙スギを支援していきます

植林は長期管理が必要であることから、当社では森林・林業で日本一の町づくりを目指している住田町への支援を決定しました。9月3日に寄付金受領式が住田町役場にて執り行われ、式典には、住田町・多田町長をはじめ林業関係者が出席されました。

また、大きく丈夫な気仙スギの森に成長するようと思いを込めて、苗木が植えられている山の一角に植林を記念する看板を設置いたしました。



●住田町へ寄付金をお渡し



●住田町での寄付金受領式の様子



●植林をする山林



●植林を記念する看板を設置

住田町 大東建託

協働の森

大東建託グループは、環境省のライトダウンプロジェクトに賛同し、ステークホルダーの皆様とともに消灯活動を実施いたしました。この活動により削減された電力量を杉のCO2吸収量に換算し、住田町と協働して当該本数の杉を育ててまいります。

2014年9月

《農林水産大臣賞を受賞した吉田さんの苗木》



スギの苗木畑



生産者：吉田正平さん

住田町で三代続く山林苗の生産者、吉田正平さんが丹精込めて育てたスギの苗（3年生）を植林しました。吉田さんは、苗畑169アールを経営し、スギ約12万本、カラマツ約9万など、合計21万本の苗木を育てています。苗の状況を見て、コンテナに植え替え、出荷時期を調整するために冷蔵庫で保存をするなど工夫をされており、2010年には優良な苗木を生産している技術力が高く評価され、農林水産大臣賞を受賞されています。

■ 大東建託の国産材活用への取り組み

当社主力の賃貸住宅はツーバイフォー工法（枠組壁工法）で、毎年多くの木材を使用しております。

当社は 2009 年から九州産のスギを部材に活用し、スギ間伐材の活用による新たな国産材需要の創出や間伐促進を実施してきました。2012 年から岩手県陸前高田市の「けせんプレカット事業協同組合」と協業し、仙台、北上、盛岡エリアの賃貸建物に、地元の気仙スギを使用しています。木材の地産地消と、被災地の林業を中心とした産業復興や雇用拡大の一助となればと考えています。

■大東建託の国産材使用量 937 t ■

当社で使用している国産材は、約半分（455 t）が岩手県産のものです。（住田町からの出荷分は 220 t）

岩手県の国産材は主に岩手県、宮城県の一部地域の賃貸建物に使用しています。

また、当社では、国産材を使用して建設された全ての縦枠材に、国産材マークを印字しております。



●国産材マーク



《気仙スギを使用したアパート》



●宮城県気仙沼市で建築中のアパート（2014年8月） こちらには一部に気仙スギが使用されています。

以上

<この件に関するお問い合わせ>

大東建託株式会社・経営企画室

TEL (03)6718-9068